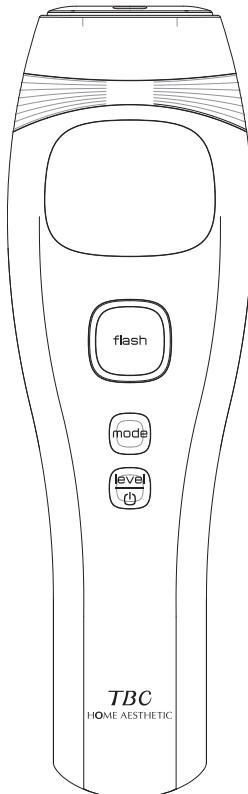




HIKARI BEAUTY 4 PRO

ヒカリビューティ 4 PRO

- 家庭用光美容器 -



もくじ

1 安全上のご注意	1
2 本体と付属品・各部の名称	6
2.1 本体と付属品	6
2.2 各部の名称	7
3 ヒカリビューティ 4 PROの基本	11
3.1 ヒカリビューティ 4 PROの特長	11
3.2 使用できる部分・使用頻度	14
3.3 使用の流れ	15
4 使用する前に	16
4.1 前日の準備	16
4.2 当日の準備	17
5 光美容器を使う	19
5.1 テスト照射	19
5.2 オートシングルモード	22
5.3 オート連続モード	25
5.4 マニュアルシングルモード	28
5.5 マニュアル連続モード	32
6 使用の後に	34
7 こんなときは	35
7.1 エラー表示	35
7.2 音について	36
7.3 困ったときは	37
7.4 よくあるご質問	38
8 製品仕様	40
9 保証とアフターサービス	41

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・本製品を正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- ・**ご使用前に必ず「安全上のご注意」(P1~5)をお読みください。**
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも確認できる場所に大切に保管してください。
- ・本製品をほかの人に譲渡する場合は、この取扱説明書を必ず添付してください。

1 安全上のご注意

- 本製品は、ムダ毛を目立たなくするためのお手入れを目的とする家庭用光美容器です。目的以外の用途には使用しないでください。
- 本製品のご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」、および取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「安全上のご注意」には、安全に関する重要な内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 異常を感じたら、直ちに使用を中止して、電源をお切りください。

注意区分について

本書では、文章と図記号を用いて安全に関する情報を表示します。安全に関する情報は、人身への危害と財産への損害の程度を、「危険」、「警告」、「注意」に区分して表示します。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定されるもの。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されるもの。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害 [*] が発生したりすることが想定されるもの。

*物的損害とは、家屋、家財、および家畜・ペットへの拡大損害のことです。

図記号の例

	してはいけないこと を示しています。		しなければならない ことを示しています。		注意しなければなら ないことを示してい ます。
---	-----------------------	---	-------------------------	---	-------------------------------

!**危険**

使
用
者



- 次の医療用電子機器を使用している場合は、本製品を使用しない
医療用電子機器が誤作動する原因
 - ペースメーカー等の体内植込型医療用電子機器
 - 人工心肺等の生命維持用医療用電子機器
 - 心電計等の装着型医療用電子機器

!**警告**

使用者



禁止

- 次に該当する場合は使用しない
肌等体にかかわる事故やトラブルの原因
 - 光過敏性てんかん、光過敏症等、光に関する疾患がある
 - 4週間以内に強い太陽の光を受けた、または日焼けした
 - 生理中、妊娠中、授乳中 ● 12歳未満 ● 自分で意思表示できない
 - 医師の治療を受けている ● 発熱している ● 酒気帯び ● アレルギー体质
 - 顔面神経痛 ● 眼瞼をさそう薬を服用している
 - ステロイド等の薬を継続的に使用している ● 敏感肌または肌が弱い
 - 疲労している ● 体調がすぐれない ● 高血圧 ● 皮膚病 ● 悪性腫瘍 ● 内臓疾患
 - 伝染性疾患、感染性疾患 ● 皮膚がん病歴がある ● 血液疾患 ● 急性疾患
 - 白斑 ● 尋常性白斑がある ● アトピー性皮膚炎 ● 皮膚トラブルがある
 - 結核性疾患 ● 3ヶ月以内に放射線治療や化学療法を受けたことがある

使用部位



禁止

- 次の部分には使用しない
肌等体にかかわる事故やトラブルの原因
 - 指定以外の部分 (P14参照) ● 眼球、まぶた等目の周辺 ● 頭部および頭髪
 - 刺青 (タトゥー) とその周辺 ● ホクロ、シミ、アザのある部分
 - 傷、ケロイドのある部分 ● 皮膚の色が濃い部分
 - 日焼けした肌、または色素が白く抜けている部分 ● 乳首や乳輪、ヘソ等
 - 唇、口腔内や性器および周辺の粘膜 (Oライン含む)
 - 皮膚が化膿して炎症を起こしている部分
 - かゆみやほてりのある部分 ● 静脈瘤のある部分
 - 体内に金属等を埋め込んでいる部分 ● 外科手術 (美容整形も含む) をした部分
 - 色素が濃く沈着した部分 (肝斑を含む)
 - 2週間以内に、サロン等で脱毛コースを受けた部分



必ず実施

- 次に該当する場合は医師に相談する
 - 自己判断できない
 - 光過敏症等になりやすい薬 (貼り薬、塗り薬を含む) 等を使用している

使用全般(本体)



禁止

- アルコール、シンナー、ベンジン、除光液等、引火性がある物の近くで使用しない
感電、ケガ、火災の原因
- 本製品を改造、分解、修理しない
感電、異常動作によるケガ、発火の原因
- 過剰な連続使用はしない、業務用に使用しない
やけど、ケガの原因
※ 業務用に使用した場合は、修理をお受けできません
- ストーブや電熱器具の近くで使用しない
ケガ、発熱、発火、故障の原因
- 浴室等の高温多湿の場所で使用しない
感電、火災、ショート、故障の原因
- 暗い場所で使用しない
ケガの原因

使用全般 (電源コード)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源コードのコード部分を引っ張ったり、ぬれた手で電源プラグを触ったりしない 感電、発火、ショート、断線の原因 ■ 電源コードを無理に曲げたり、重い物を乗せたりしない 感電、発火、ショート、断線の原因
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源プラグを抜き差しする際は、必ず本体の電源を切る 火災、感電、発火、故障の原因 ■ 電源プラグを抜き差しする際は、必ずプラグ部分を持ち、金属部分に触れない ようにする 感電、発火、ショートの原因 ■ 電源プラグにホコリや水がついている場合は、乾いたタオルでふく 感電、発火、ショートの原因
使用前		<ul style="list-style-type: none"> ■ 光を照射する際は、必ず付属のゴーグルを装着する ケガ、事故の原因 ■ 必ずAC100～240Vで使用する、単独のコンセントで使用する 感電、火災、発火、故障の原因 ※日本国外で使用した場合は無償修理の対象外です ■ 使用前に必ずテスト照射を行い、光を照射した部分の肌に異常がないことを確 認する やけど、肌トラブルの原因
使用時		<ul style="list-style-type: none"> ■ 異臭、異常発熱等、機器の異常が発生したら使用を中止する 感電、ケガ、発火、発煙、破損、故障の原因 ※直ちに電源を切って電源プラグを抜き、点検・修理を依頼してください
使用後	 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水洗いしない 感電、火災、ショート、故障の原因 ■ 浴室等の高温多湿になる場所や水のかかりやすい場所に置かない 感電、火災の原因 ■ 子どもの手の届く場所に保管しない ケガ、事故の原因
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 汚れた場合は、洗剤を使わず乾いたきれいな布でふいた後、保管する 感電、火災、ショート、故障の原因

⚠ 注意

使用前	禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 使用前にクリスタル照射口を確認し、破損、変形、変色等がある場合は使用しない 傷、やけど、肌トラブルのおそれ
	必ず実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ 光を照射する部分は、必ず前日にシェーピングする 毛が長い状態で使用した場合、やけど、肌トラブルのおそれ ※毛抜きやワックスは使用しないでください ■ アクセサリー等の金属類は外す ケガのおそれ ■ 光を照射する部分を洗浄し、水滴をふきとて素肌に使用する やけど、肌トラブルのおそれ ※制汗剤、ローション、クリーム、オイル等は塗らないでください ■ 光の照射前は、必ずクーリングパックで冷やす 十分な冷却をしないと、やけど、肌トラブルのおそれ
使用時	禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 屋外、直射日光の下で使用しない 故障、動作不良の原因 ■ クリスタル照射口を磁気のある物に近づけない 故障、破損の原因 ■ 冷却用換気口をふさがない 故障、動作不良の原因 ■ 1回の使用で、同じ部分に繰り返し光を照射しない やけど、肌トラブルのおそれ ■ ペットには使用しない ケガのおそれ ■ コードを束ねたまま使用しない 故障、動作不良の原因
	必ず実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ 必ずハンドピースの照射面が肌に密着した状態で光を照射する やけど、肌トラブル、目に障害が生じるおそれ ■ 光の照射中に強い熱さを感じたら、直ちにハンドピースを肌から離し、クーリングパックで肌を十分に冷やす そのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ ※電源は切らずに、クリスタル照射口が冷めるのを待って再開してください

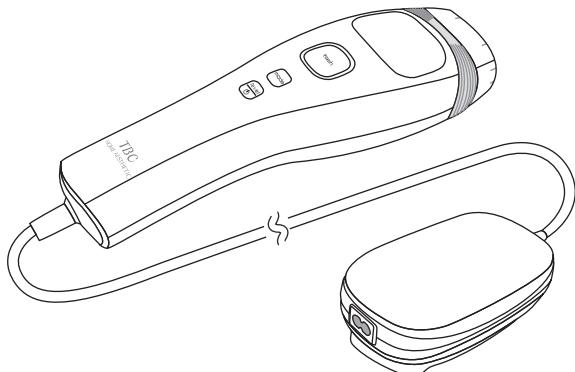
使用後

 禁止	<ul style="list-style-type: none">■光の照射直後のクリスタル照射口には触れない やけどのおそれ■アルコール、シンナー、ベンジン、除光液等の溶剤でふかない 表面が損傷する原因■高い所に保管しない 落下による故障の原因
 必ず 実施	<ul style="list-style-type: none">■光の照射後は、必ずクーリングパックで冷やす 十分な冷却をしないと、やけど、肌トラブルのおそれ■使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 火災、発火の原因

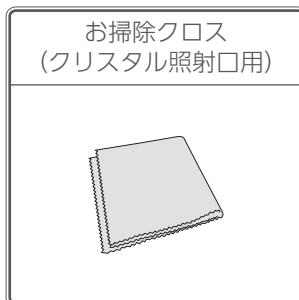
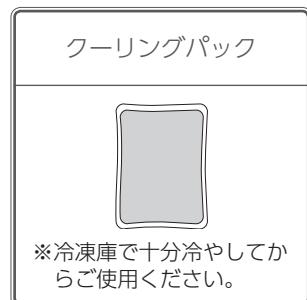
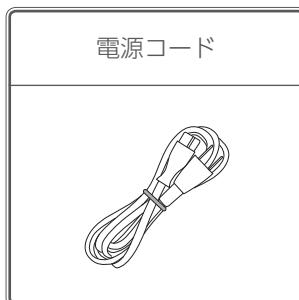
2 本体と付属品・各部の名称

2.1 本体と付属品

■本体



■付属品

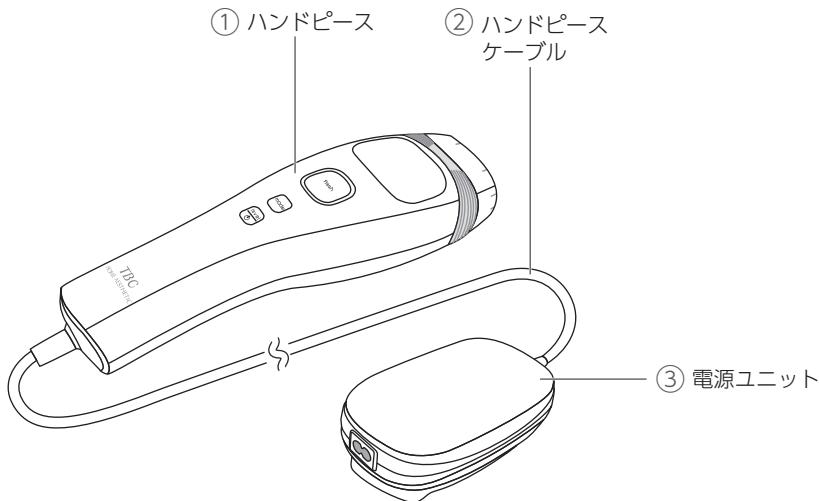


*保証書は、お買い上げ日・販売店名がわかるレシート・明細書がございませんと、有効とはなりません。

2.2 各部の名称

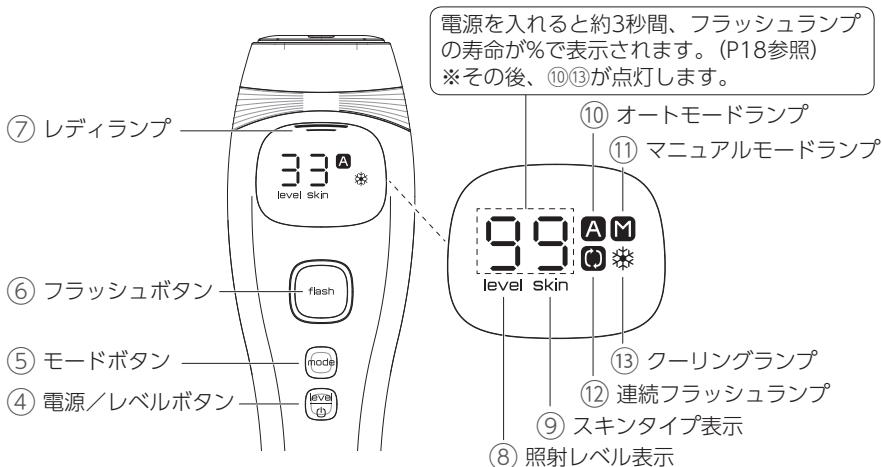
■本体

本体と付属品
各部の名称



- ① ハンドピース
- ② ハンドピースケーブル
- ③ 電源ユニット

■ハンドピース(表側)



④ 電源／レベルボタン

電源を入・切するときや、マニュアルモードで照射レベルを設定するときに使用します。
・電源の入・切：2秒以上押す
・照射レベルの設定：短く押す（1秒以内）

⑤ モードボタン

モードを切り替えるときに使用します。

⑥ フラッシュボタン

光を照射するときに使用します。

⑦ レディランプ

照射口が肌に密着し照射待機状態（レディ状態）のときに点灯します。

⑧ 照射レベル表示

照射レベルが表示されます。

※電源を入れた直後の約3秒間は、フラッシュランプの寿命がパーセントで表示されます。（10の位）

⑨ スキンタイプ表示

スキントーンセンサーが検知したスキンタイプが表示されます。

※電源を入れた直後の約3秒間は、フラッシュランプの寿命がパーセントで表示されます。（1の位）

⑩ オートモードランプ **A**

オートシングルモード、またはオート連続モードのときに点灯します。

※電源を入れ、⑧⑨にフラッシュランプの寿命が表示された後、点灯します。

⑪ マニュアルモードランプ **M**

マニュアルシングルモード、またはマニュアル連続モードのときに点灯します。

⑫ 連続フラッシュランプ **C**

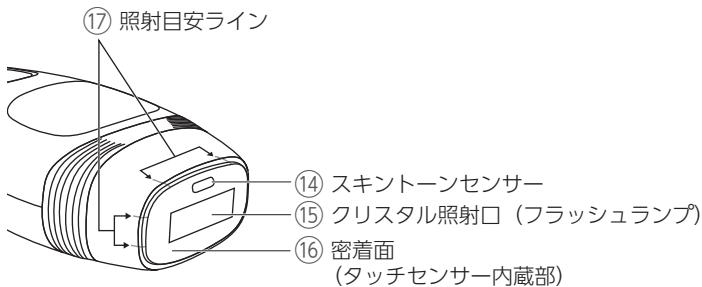
オート連続モード、またはマニュアル連続モードのときに点灯します。

⑬ クーリングランプ *****

クリスタル照射口を冷却しているときに点灯します。

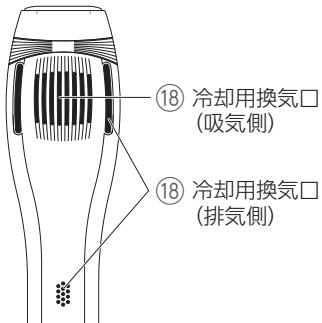
※電源を入れ、⑧⑨にフラッシュランプの寿命が表示された後、点灯します。

■ハンドピース(照射面)



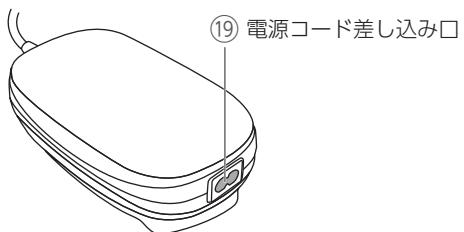
- ⑭ スキントーンセンサー
光を照射する部分の肌の色をチェックして、スキンタイプが検知されます。
- ⑮ クリスタル照射口 (フラッシュランプ)
ここから光が照射されます。
※電源を入れると、クリスタル照射口の冷却が始まります。
- ⑯ 密着面 (タッチセンサー内蔵部)
光を照射するときに肌にあてる面です。
内蔵のタッチセンサーにより、正しく肌に密着しているかがチェックされます。
- ⑰ 照射目安ライン
移動する幅の目安にします。

■ハンドピース(裏側)



- ⑯ 冷却用換気口 (吸気側、排気側)
ハンドピース内部を冷却するための換気口です。

■電源ユニット



本体と付属品
各部の名称

- ⑯……………電源コード差し込み口
電源コードを差し込みます。

3 ヒカリビューティ4 PROの基本

3.1 ヒカリビューティ4 PROの特長

- Point1 エステティックTBCのコースメソッドに基づいて開発。
TBCサロンのライト脱毛の実績から、効率的な光の波長域を採用しています。

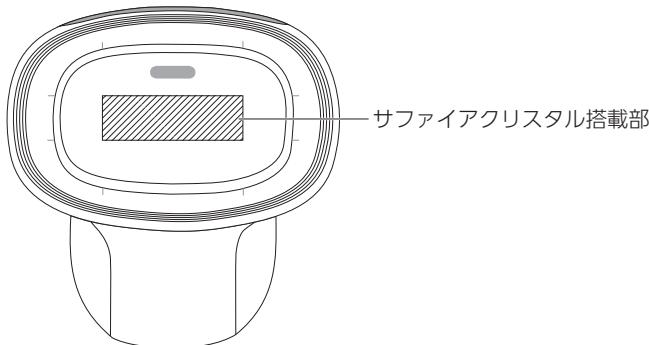


※実際のコースでは、
ゴーグルを使用して
います。

- Point2 AMP方式(特許技術^{*}利用)を採用。
AMP方式とは…特許技術^{*}を利用した、1回のショットで複数回光を連続照射する方法です。

※特許第5198671号：エネルギーレベル調節が可能なIPL機器

- Point3 シリーズ初の冷却用クリスタル付き照射口を採用。
照射面に搭載したサファイアクリスタルが冷たくなることで、光照射時の肌刺激をやわらげます。



■Point4 安全性を考えた2つのセンサー。

● タッチセンサー

肌密着を検知し、光の照射をコントロールします。

- 肌に密着していれば、
照射されます。



- ✗ 肌に密着していないと、
照射されません。

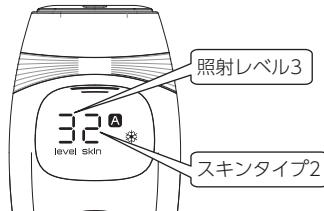


● スキントーンセンサー

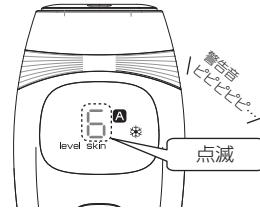
オートモード時、センサーがスキンタイプ(肌の色)を検知し、自動的に適した照射レベルに設定されます。

※光の照射に向かないスキントーンの場合、警告音が鳴ってスキントーン表示が点滅します。

- スキントーン2の場合、
照射レベルは3に設定されます。



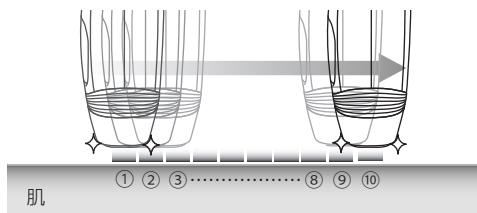
- ✗ スキンタイプ6の場合、
照射できません。



※スキントーン別の照射レベルについての詳細は、P22の表を確認してください。

■Point5 連続照射機能を搭載。

1回のボタン操作で、最大10ショット連続で光を照射可能。
広範囲のお手入れにおすすめです。



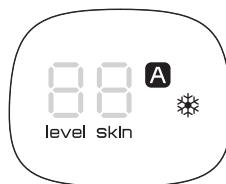
■Point6 選べる4つのモード。

【オート】

簡単操作のおすすめモード。スキントーンセンサーが肌の色を検知し、スキンタイプを選別。スキンタイプに合った照射レベルを自動的に設定。

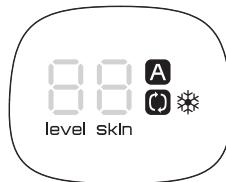
オートシングルモード

1ショットずつ光を照射。
狭い範囲をお手入れしたいとき。



オート連続モード

連続(最大10ショット)で光を照射。
広い範囲をお手入れしたいとき。



【マニュアル】

カスタマイズして使用するモード。
光を照射する部分の肌の色を確認し、体感に合わせて照射レベルを自身で設定。

マニュアルシングルモード

1ショットずつ光を照射。
狭い範囲をお手入れしたいとき。



マニュアル連続モード

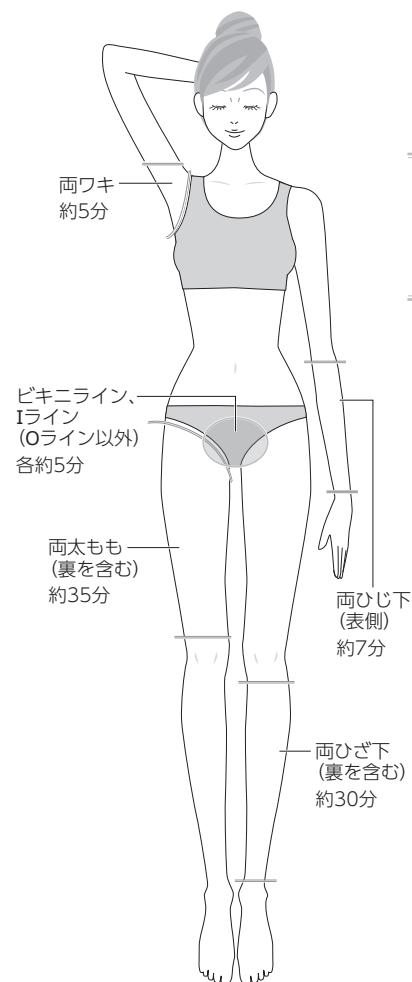
連続(最大10ショット)で光を照射。
広い範囲をお手入れしたいとき。



3.2 使用できる部分・使用頻度

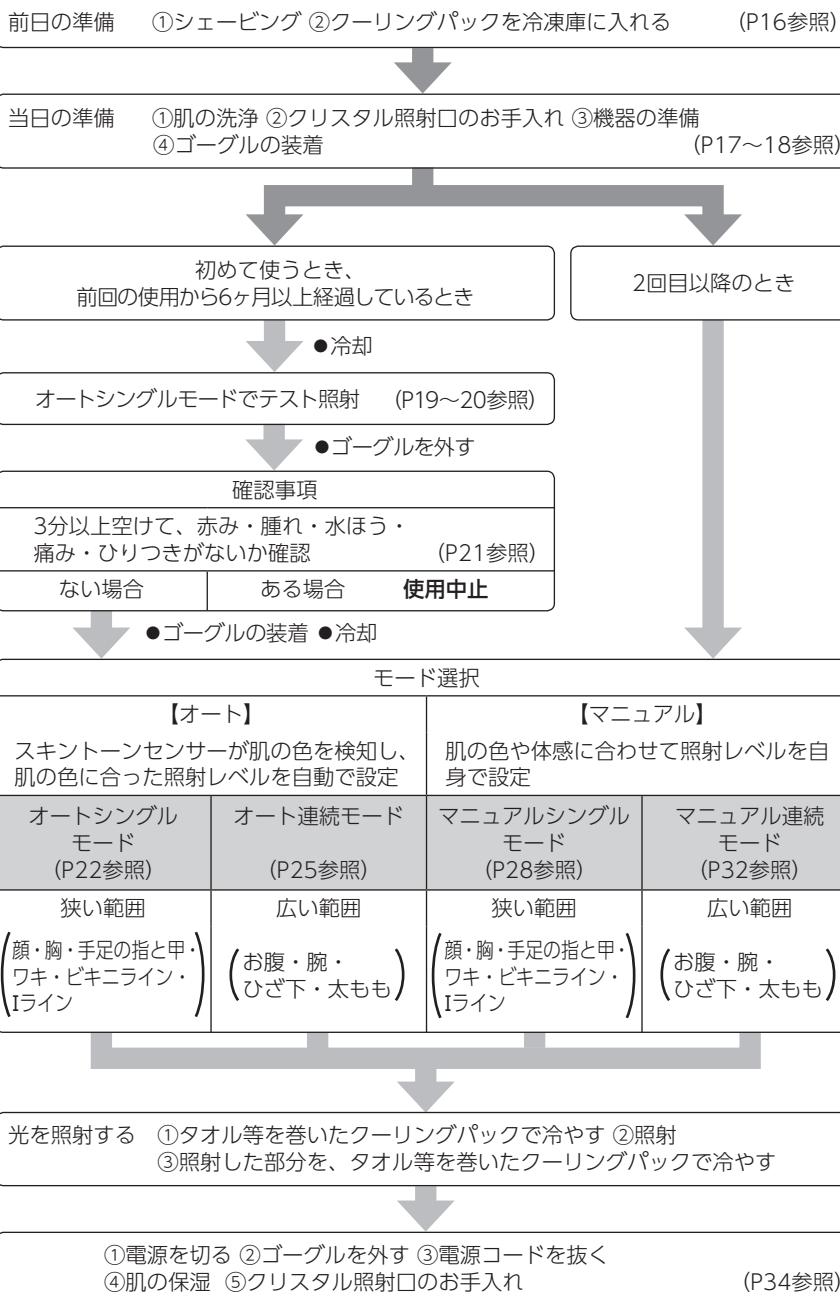
使用できる部分	おすすめのモード	使用頻度
顔 (鼻下から下のみ照射可) ※髪を束ねるなどして使用する。	オートシングルモード P22参照 または マニュアルシングルモード P28参照	最初の約2ヶ月間は2週間に1回 ▼ 約3ヶ月目以降 は4週間に1回
胸 ※乳首・乳輪には光を照射しない	オート連続モード P25参照 または マニュアル連続モード P32参照	
手の指・甲、足の指・甲		
お腹 ※ヘソには光を照射しない	オートシングルモード P22参照 または マニュアルシングルモード P28参照	
腕		
ひざ下・太もも		
ワキ		
ビキニライン ※黒系ではなく白系のショーツを着用して光を照射する。	オートシングルモード P22参照 または マニュアルシングルモード P28参照	最初の約2ヶ月間は1週間に1回 ▼ 約3ヶ月目以降 は2週間に1回
Iライン (Oライン以外) ※性器および周辺の粘膜には光を照射しない ※Iラインは他の部分より肌の色が濃いため、光を照射できない場合があります。		

■1回のお手入れ時間の目安



■光美容器によるお手入れは最短でも1週間以上、間隔を空けて実施する
やけど、肌トラブルのおそれ

3.3 使用の流れ

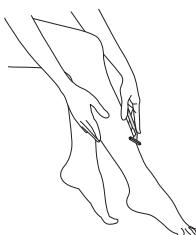


4 使用する前に

4.1 前日の準備

1 光美容器でお手入れする部分をシェービングする

- ・肌を傷つけないよう、市販の電気シェーバー、カミソリ等を使い、剃り残しがないようにシェービングしてください。



- ・Iラインは粘膜に近い場所なので、シェービングをする際は、鏡を使用し肌を傷つけないように注意してください。
- ・シェービング当日は肌が敏感になりがちなため、光の照射は翌日に行ってください。



注意

- ワックス、毛抜き、その他市販の脱毛用機器で脱毛しない
肌トラブルのおそれ

2 付属のクーリングパックを冷凍庫に入れる

- ・クーリングパックは十分に冷やしてください。
- ・肌を冷やすのに適した仕様になっています。

4.2 当日の準備

1 肌を洗浄する

- ・光美容器でお手入れする部分を洗浄し、乾いたタオル等で水分をふきとってください。
- ・マイクをしている場合は、クレンジング・洗顔を行ってください。
- ・保湿クリームやUVクリーム等を使用している場合は、せっけん等で洗浄してください。

2 クリスタル照射口のお手入れをする

- ・ハンドピースのクリスタル照射口にホコリや毛等の汚れがついていないか確認してください。
- ・クリスタル照射口が汚れている場合は、電源を切った状態で、付属のお掃除クロスで汚れをふきとってください。
- ・お掃除クロスで落ちない汚れは、水で湿らせた綿棒でふきとってください。



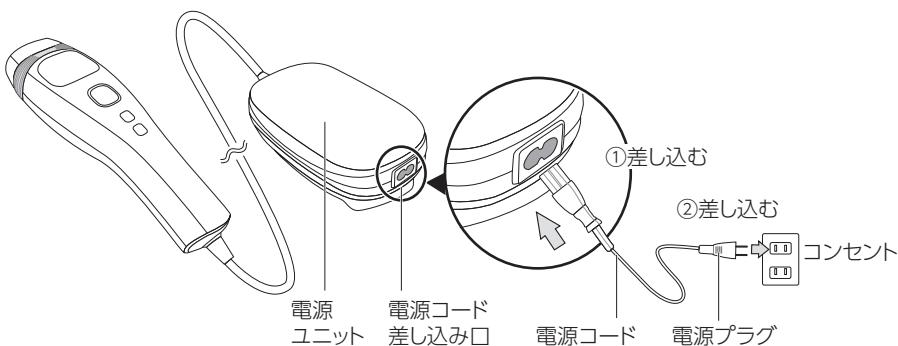
注意

- クリスタル照射口をアルコール、シンナー、ベンジン、除光液等の溶剤でふかない
クリスタル部分が損傷する原因

使用する前に

3 電源コードを差し込む

- ①電源コードを、電源ユニットの電源コード差し込み口に差し込む
- ②電源プラグをコンセントに差し込む
 - ・「ビ」という音が鳴ります。



注意

- 電源コードを差し込む際は、電源ユニットを持って、差し込み口の奥までしっかりと差し込む
故障や動作不良の原因

4 冷凍庫から付属のクーリングパックを取り出して、タオル等を巻く



- 付属のクーリングパック以外は使用しない
低温やけどの原因

5 付属のゴーグルを装着する

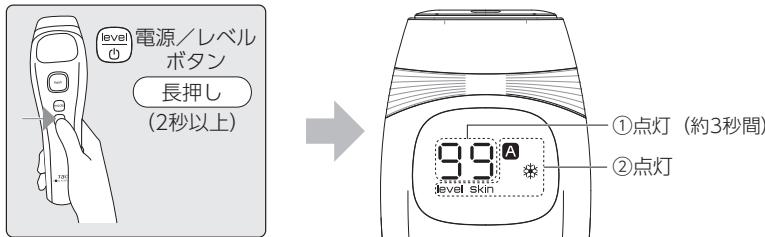
- ・目を光から保護するために装着します。



6 ハンドピースの電源／レベルボタン [level] を2秒以上押す

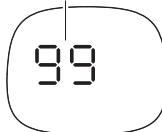
- ・電源が入り、「ピー」という音が鳴ります。
- ・スキンタイプ表示と照射レベル表示の数字が約3秒間点灯し、フラッシュランプの寿命をお知らせします。
- ・フラッシュランプの寿命のお知らせ後、オートモードランプ A、クーリングランプ※、「level」、「skin」が点灯します。

※起動時は、自動的にオートシングルモードに設定されます。



- フラッシュランプ(光を照射するための光源)には、電球等と同様に寿命があります。
- 寿命は、下記のように表示されます。

フラッシュランプの
寿命表示



表示	寿命	表示	寿命
99	100 ~ 91%	40	40 ~ 31%
90	90 ~ 81%	30	30 ~ 21%
80	80 ~ 71%	20	20 ~ 11%
70	70 ~ 61%	10	10 ~ 1%
60	60 ~ 51%	E4	0% (照射不可)
50	50 ~ 41%		

note

- フラッシュランプの寿命表示が消灯した後に寿命を確認したいときは、電源／レベルボタンを長押しして電源を切り、再度電源を入れてください。
- フラッシュランプが寿命に達した場合(照射回数：照射レベル1で約300,000ショット)は、電源を入れた直後にエラー表示：E4が表示されます。(P35参照)
製品を廃棄する場合は、各自治体の分別ルールに従ってください。
- フラッシュランプの交換はできません。

5 光美容器を使う

5.1 テスト照射

初めて光美容器を使うときは、必ずテスト照射を実施してください。

前回の使用から6ヶ月以上経過しているときも、テスト照射を実施してください。

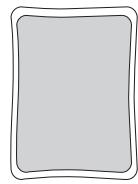


注意

- 毛が長い状態で使用しない
やけど、肌トラブルのおそれ
- テスト照射前に肌の状態や体調を確認し、異常があればテスト照射を中止する
やけど、肌トラブルのおそれ

1 テスト照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・タオル等を巻いた状態で肌にあててください。
- ・室温や体温等の条件により、冷やす時間は異なります。
- ・クーリングパックをあてた部分を手で触れて、肌が冷えていることが確認できるまで冷やしてください。



クーリングパック

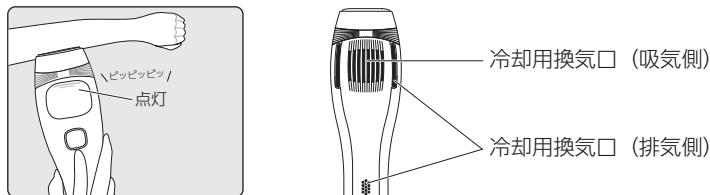


注意

- クーリングパックを取り扱う際は、次の注意事項を守る
 - 光美容器によるお手入れ以外の目的に使用しない
 - 冷凍庫から取り出し、じかに肌にあてない
クーリングパックが肌に貼りついて取れなくなるおそれ
 - 肌を冷やし過ぎない
凍傷のおそれ
 - 中身を口に入れない(成分:水、ポリアクリル酸ナトリウム、プロピレン・グリコール)
 - 鋭利な物や硬い物をあてない、衝撃を与えない
 - 万一、クーリングパックが破れて中身が漏れ手や身体についた場合は、まず、布等でふきとりその後、水で洗い流す
 - 乳幼児の手の届かない所に、直射日光を避けて保管する
 - 30°C以下、80°C以上にしない
 - 廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従う

2 テスト照射する部分の肌に、ハンドピースの照射面を密着させる

- ・テスト照射は「オートシングルモード」で行う。
 - ・持ち方例
※持ち方は一例です。持ちにくい場合は裏側にある冷却用換気口をふさがないよう注意し、
持ちかえてもかまいません。



- ・照射面が密着するよう、Iラインなどは、肌を手で平らに伸ばしながら行ってください。
 - ・正しく密着した場合、「ピッピッピッ」という音が鳴ると同時に、レディランプが点灯し光を照射できる状態になります。
 - ・音が鳴らない場合は、ハンドピースを肌から離して、再度、肌に密着させてください。
 - ・スキントーンセンサーがスキンタイプ（肌の色）を検知し、自動的にスキンタイプに適した照射レベルに設定されます。



光美容器を使う



注意

- ハンドピースの照射面を、肌に強く押さない
ケガ、破損のおそれ

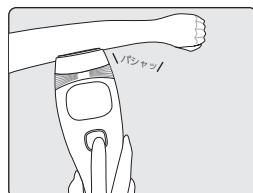
例) 照射不可の場合



スキンタイプ6が
点滅表示し、「ピピ
ピピ…」という警
告音が鳴ります。
フラッシュボタン
を押しても光は照
射されません。

3 ハンドピースのフラッシュボタン  を押し、光が照射されたら、ハンドピースを肌から離す

- ・1回照射されます。
 - ・照射が終わるまで、ハンドピースの照射面を肌に密着させたままにしてください。





警告

- 光を照射する際は、必ず付属のゴーグルを装着する
ケガ、事故の原因
- 照射時は、クリスタル照射口の光を直視しない
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・アザのある部分は避ける
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがない場所で使用する
ケガ、事故の原因

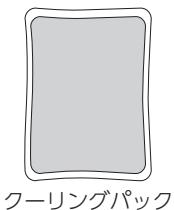
4 3分以上空けてゴーグルを外し、テスト照射した部分の肌を確認する

- ・テスト照射した部分や、その周辺に次の症状がないか、確認してください。あてはまる項目に✓を入れてください。

✓	項目
	赤みがある
	腫れている
	水ほうがある
	痛みを感じる
	ひりつきを感じる

- ・1つでもあてはまる項目があれば、本製品の使用を直ちに中止してください。
- ・いずれの項目にもあてはまらない場合は、本製品をご使用できます。

5 光を照射した部分を、付属のクーリングパックで冷やす



クーリングパック

6 付属のゴーグルを装着する



5.2 オートシングルモード【A】



- 光美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備(P16参照)と当日の準備(P17~18参照)を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または前回の使用から6ヶ月以上経過しているときは、テスト照射を実施する(P19~21参照)

1 オートシングルモードになっていることを確認する

- ・電源を入れて起動すると、自動的にオートシングルモードに設定されます。

2 光を照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

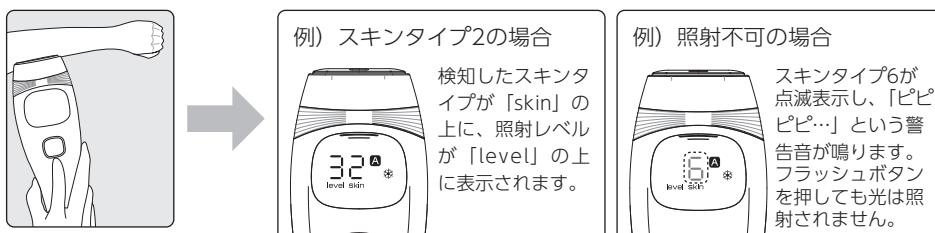
- ・クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。(P19参照)

3 光を照射する部分の肌に、ハンドピースの照射面を密着させる

- ・ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。(P20参照)

■肌選別AI機能(オートシングルモード・オート連続モード)

スキントーンセンサーがスキンタイプ(肌の色)を検知し、自動的に適した照射レベルに設定されます。



スキンタイプの分類	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5	タイプ6
*フィッツパトリック(Fitz Patrick)による分類						
日光を浴びた際の皮膚反応	常に赤くなり、肌色が濃くならない。	常に赤くなり、その後少し肌色が濃くなる。	赤くなり、肌色が濃くなる。	あまり赤くならず、すぐに肌色が濃くなる。	めったに赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。	赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。
照射レベル	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	照射不可	数字が点滅
						数字が点滅

※Iラインは他の部分より肌の色が濃いため、照射できない場合があります。

4 ハンドピースのフラッシュボタン flash を押し、光が照射されたら、ハンドピースを肌から離す



警告

- 光を照射する際は、必ず付属のゴーグルを装着する
ケガ、事故の原因
- 照射時は、クリスタル照射口の光を直視しない
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・アザのある部分は避ける
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがない場所で使用する
ケガ、事故の原因

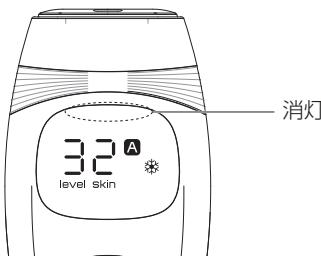
- ・照射されると「ピー」という音が鳴り、自動的にチャージが開始されます。
- ・チャージ中はレディランプが点滅し、照射はできません。

【チャージ中】



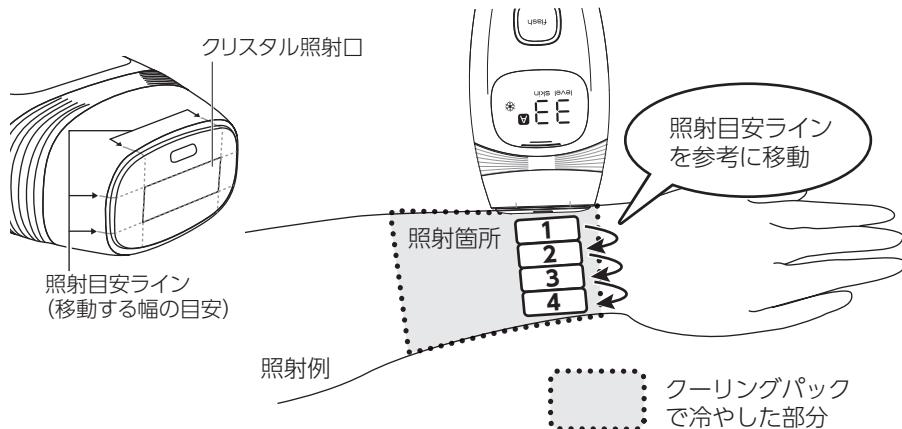
- ・チャージが完了すると、音が止まり、レディランプが消灯します。

【チャージ完了】



5 次に光を照射したい部分の肌に、ハンドピースの照射面を密着させ、ハンドピースのフラッシュボタン flash を押す

- 一度照射した部分に重ならないようにしてください。
- 事前にクーリングパックで冷やした部分に使用してください。それ以外の部分には使用しないでください。



note

- 照射面全面ではなくクリスタル照射口の面積が、照射される面積です。ムラにならないよう、照射目安ラインを参考に、できるだけ隙間なく照射してください。



注意

- 1回の使用で、一度照射した部分に何度も繰り返し照射しない
やけどのおそれ
- 照射時に熱を感じるときは、こまめに冷やす
やけどのおそれ

光美容器を使う

6 光を照射した部分を、付属のクーリングパックで冷やす

7 手順2~6を繰り返す

- 次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす、を繰り返してください。



注意

- 光美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用を直ちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、クリスタル照射口が冷たく感じなくなることがあるため、照射中熱さを感じたら、直ちにハンドピースを肌から離し、クーリングパックで肌を十分に冷やし、電源を切らずにクリスタル照射口が冷めるまで時間をおくそのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- クリスタル照射口が汚れていたら、電源を切り、お手入れを行ってから再度使用する(P17参照)

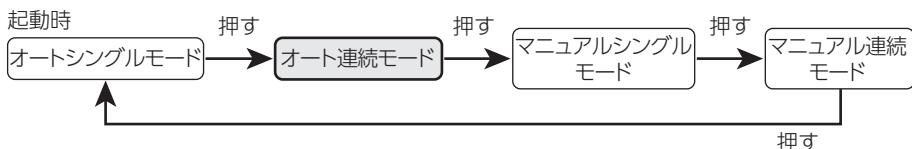
5.3 オート連続モード【A C】



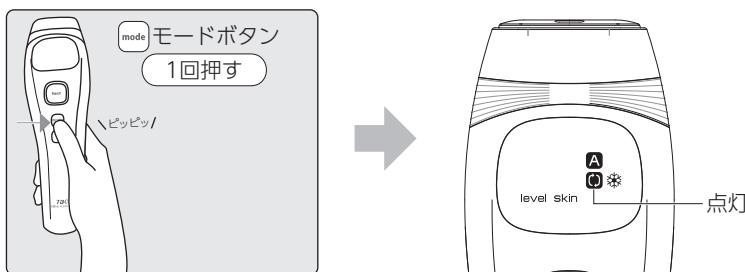
注意

- 光美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備(P16参照)と、当日の準備(P17~18参照)を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または前回の使用から6ヶ月以上経過しているときは、テスト照射を実施し(P19~21参照)、オートシングルモードを使用する(P22参照)
- 光の連続照射を実施する際は、連続照射に適した部分であることを確認する(P14参照)

1 ハンドピースのモードボタン mode を1回押す



- ・「ピッピッ」という音が鳴り、オート連続モードに切り替わります。
- ・オートモードランプ A に加え、連続フラッシュランプ C が点灯します。



note

- ハンドピースのモードボタンを押すたびに、モードが切り替わります。

2 光を照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。(P19参照)

3 光を照射する部分の肌に、ハンドピースの照射面を密着させる

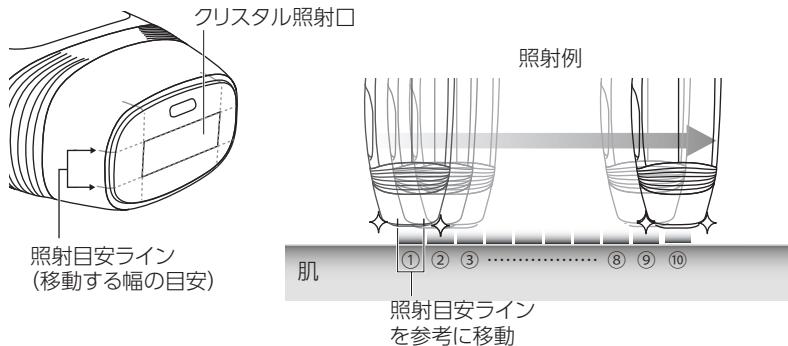
- ・ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。(P20参照)
- ・スキントーンセンサーがスキンタイプ(肌の色)を検知し、自動的に適した照射レベルに設定されます。(P22参照)

4 ハンドピースのフラッシュボタン [flash] を押したまま、ハンドピースをスライドさせる



- 光を照射する際は、必ず付属のゴーグルを装着する
ケガ、事故の原因
- 照射時は、クリスタル照射口の光を直視しない
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・アザのある部分は避ける
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがない場所で使用する
ケガ、事故の原因

- ・光が照射されたら、フラッシュボタンを押し続けたまま、ハンドピースをスライドさせ次の照射部分へ移動してください。最大10回まで連続して照射できます。
- ・一度照射した部分に重ならないように使用してください。
- ・事前にクーリングパックで冷やした部分に使用してください。それ以外の部分には使用しないでください。



- 1回の使用で、一度照射した部分に何度も繰り返し照射しない
やけどのおそれ
- 照射時に熱を感じるときは、こまめに冷やす
やけどのおそれ

note

- 10回照射した後は、ハンドピースを肌から離してください。自動的にチャージが開始され「ピー」という音が鳴ります。このとき、レディランプが点滅します。チャージが完了すると、音が止まり、レディランプが消灯し、再度10回の連続照射ができます。
- 連続照射の途中でハンドピースを肌から離してしまった場合、すぐに肌にあてると再開できます。一定時間離すと自動的にチャージが開始され、再度10回の連続照射ができます。

5 光を照射した部分を、付属のクーリングパックで冷やす

6 手順2～5を繰り返す

・次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす、を繰り返してください。



注意

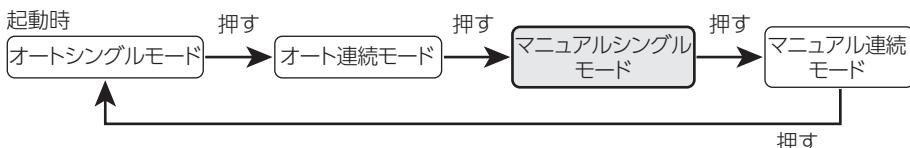
- 光美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用を直ちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、クリスタル照射口が冷たく感じなくなることがあるため、照射中熱さを感じたら、直ちにハンドピースを肌から離し、クーリングパックで肌を十分に冷やし、電源を切らずにクリスタル照射口が冷めるまで時間をおくそのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- クリスタル照射口が汚れていたら、電源を切り、お手入れを行ってから再度使用する(P17参照)

5.4 マニュアルシングルモード【M】

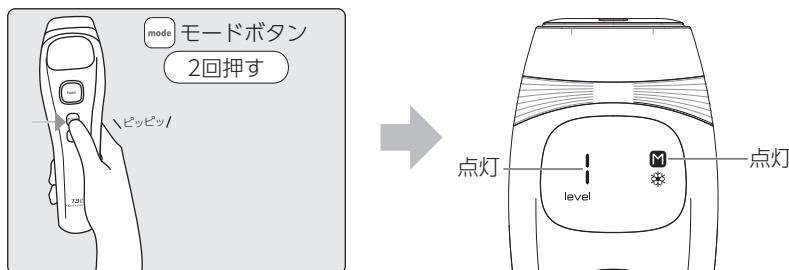


- 光美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備(P16参照)と、当日の準備(P17~18参照)を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または前回の使用から6ヶ月以上経過しているときは、テスト照射を実施し(P19~21参照)、オートシングルモードを使用する(P22参照)

1 ハンドピースのモードボタン mode を2回押す

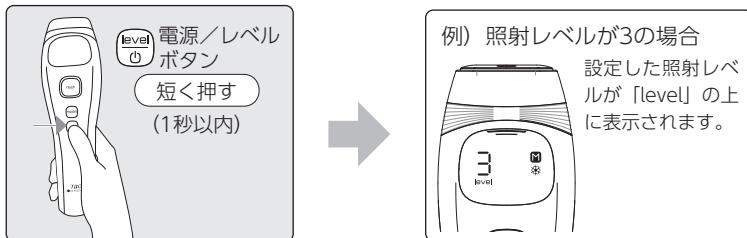


- ・ボタンを押すたびに「ピッピッ」という音が鳴り、マニュアルシングルモードに切り替わります。
- ・連続フラッシュランプ④とオートモードランプAが消灯し、マニュアルモードランプMと照射レベル表示「1」が点灯します。



2 ハンドピースの電源／レベルボタン [level] を1秒以内で短く押して、照射レベルを設定する

- 電源／レベルボタンを押すたびに「ピ」という音が鳴り、最も低いレベルの1から、最も高いレベルの5まで、5段階で照射レベルを切り替えることができます。照射レベル5の設定で電源／レベルボタンを押すと、照射レベルが1に切り替わります。



- スキンタイプ(肌の色)別の、照射レベルの設定目安は次のとおりです。
光を照射する部分の肌の色に合わせて設定してください。

スキンタイプの分類	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5	タイプ6
※フィツツパトリック(Fitz Patrick)による分類						
日光を浴びた際の皮膚反応	常に赤くなり、肌色が濃くならない。	常に赤くなり、その後少し肌色が濃くなる。	赤くなり、肌色が濃くなる。	あまり赤くならず、すぐに肌色が濃くなる。	めったに赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。	赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。
照射レベルの設定目安	1~5	1~5	1~4	1~3	1~2	照射不可



- はじめは、照射レベル1を選択して光美容器でお手入れする
- 照射レベルを上げたときに熱く感じたら、レベルを下げる
そのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ

3 光を照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。(P19参照)

4 光を照射する部分の肌に、ハンドピースの照射面を密着させる

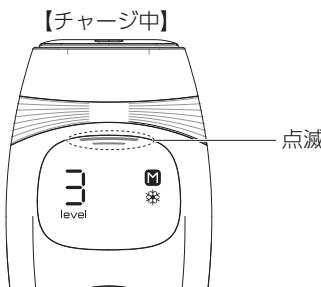
- ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。(P20参照)

5 ハンドピースのフラッシュボタン を押し、光が照射されたら、ハンドピースを肌から離す

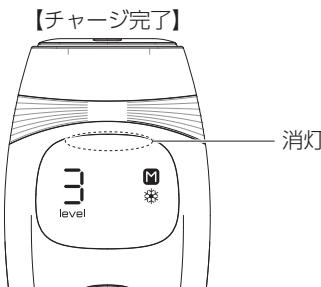


- 光を照射する際は、必ず付属のゴーグルを装着する
ケガ、事故の原因
- 照射時は、クリスタル照射口の光を直視しない
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・アザのある部分は避ける
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがない場所で使用する
ケガ、事故の原因

- ・照射されると「ピー」という音が鳴り、自動的にチャージが開始されます。
- ・チャージ中はレディランプが点滅し、照射はできません。



- ・チャージが完了すると、音が止まり、レディランプが消灯します。



6 次に光を照射したい部分の肌に、ハンドピースの照射面を密着させ、 ハンドピースのフラッシュボタン を押す

- ・続けて光美容器でお手入れする際の注意事項を必ず守ってください。(P24参照)

7 光を照射した部分を、付属のクーリングパックで冷やす

8 手順3～7を繰り返す

- ・次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす、を繰り返してください。



注意

- 光美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用を直ちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、クリスタル照射口が冷たく感じなくなることがあるため、照射中熱さを感じたら、直ちにハンドピースを肌から離し、クーリングパックで肌を十分に冷やし、電源を切らずにクリスタル照射口が冷めるまで時間をおくそのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- クリスタル照射口が汚れいたら、電源を切り、お手入れを行ってから再度使用する(P17参照)

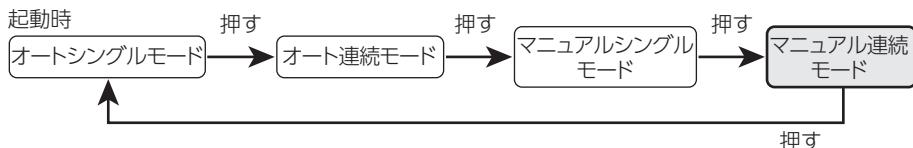
5.5 マニュアル連続モード【M】



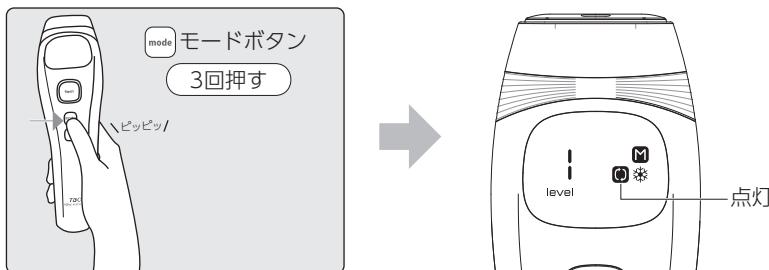
注意

- 光美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備（P16参照）と、当日の準備（P17～18参照）を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または前回の使用から6ヶ月以上経過しているときは、テスト照射を実施し（P19～21参照）、オートシングルモードを使用する（P22参照）
- 光の連続照射を実施する際は、連続照射に適した部分であることを確認する（P14参照）

1 ハンドピースのモードボタン mode を3回押す



- ・ボタンを押すたびに「ピッピッ」という音が鳴り、マニュアル連続モードに切り替わります。
- ・連続フラッシュランプ が点灯します。



2 ハンドピースの電源／レベルボタン level を1秒以内で短く押して、照射レベルを設定する

- ・照射レベルを設定する際の注意事項を必ず守ってください。（P29参照）

3 光を照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。（P19参照）

4 光を照射する部分の肌に、ハンドピースの照射面を密着させる

- ・ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。（P20参照）

5 ハンドピースのフラッシュボタン を押したまま、ハンドピースをスライドさせる



警告

- 光を照射する際は、必ず付属のゴーグルを装着する
ケガ、事故の原因
- 照射時は、クリスタル照射口の光を直視しない
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・アザのある部分に照射しない
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがない場所で使用する
ケガ、事故の原因

・連続照射の際の注意事項を必ず守ってください。(P26参照)

6 光を照射した部分を、付属のクーリングパックで冷やす

7 手順3～6を繰り返す

・次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす、を繰り返してください。



注意

- 光美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用を直ちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、クリスタル照射口が冷たく感じなくなることがあるため、照射中熱さを感じたら、直ちにハンドピースを肌から離し、クーリングパックで肌を十分に冷やし、電源を切らずにクリスタル照射口が冷めるまで時間をおくそのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- クリスタル照射口が汚れていたら、電源を切り、お手入れを行ってから再度使用する(P17参照)

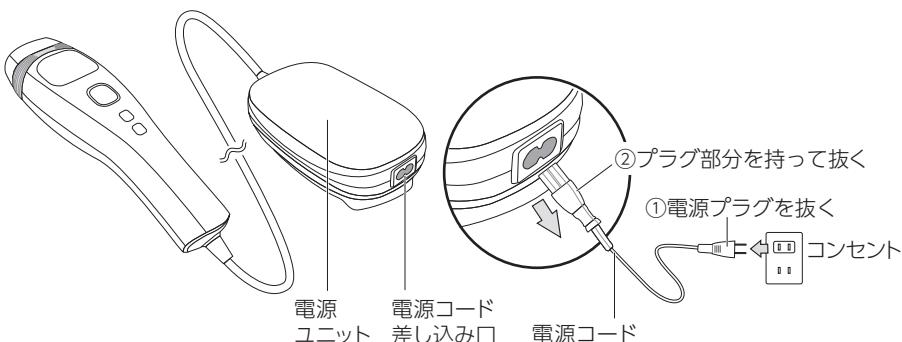
6 使用の後に

1 ハンドピースの電源／レベルボタン を2秒以上押す

- ・電源が切れて、すべての表示が消灯します。
- ・ゴーグルを外します。

2 電源コードを抜く

- ①電源プラグをコンセントから抜く
- ②電源コードを、電源ユニットの電源コード差し込み口から抜く



3 化粧水やクリームで肌を保湿する



注意

- 化粧水やクリームを塗った肌に、再び光を照射しない
- 光の照射後24時間以内は、肌を清潔にし刺激を与えない、入浴やサウナ等は控える
- 光の照射後48時間以内は、塩素処理をしたプールや温泉は控える
- 光の照射後最低2週間は、直射日光を浴びない、日焼けを予防する
- 光の照射後に野外活動を行う場合、最低2週間は日焼け止めクリームを使用する (SPF30、PA++以上)

4 クリスタル照射口をお手入れする

- ・クリスタル照射口に汚れがないか確認し、汚れている場合は、付属のお掃除クロスで汚れをふきとってください。
- ・お掃除クロスで落ちない汚れは、水で湿らせた綿棒でふきとってください。



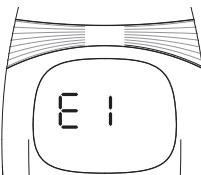
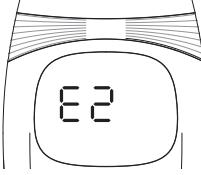
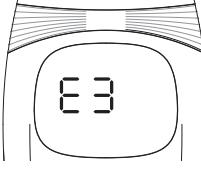
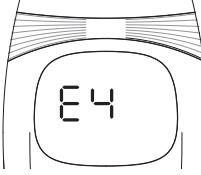
注意

- クリスタル照射口が汚れたまま使用しない
汚れの焼き付き、やけど、肌トラブルのおそれ
- クリスタル照射口をお手入れする前に、必ず電源を切る
やけどのおそれ
- 水洗いしない
感電、火災、ショート、故障の原因
- クリスタル照射口をアルコール、シンナー、ベンジン、除光液等の溶剤でふかない
クリスタル部分が損傷する原因

7 こんなときは

7.1 エラー表示

本製品は、次の方法でエラーが発生したことをお知らせします。エラー表示を確認したら、電源を切り、エラー内容をご確認の上、処置方法に従って対応してください。お問い合わせの際は、点灯したエラー表示をお知らせください。

エラー表示	エラー内容	処置方法
「E1」の表示 	ファンに不具合が発生しているおそれがあります。	お買い上げの販売店へお問い合わせください。
「E2」の表示 	本体内部が高温になっています。	電源を切り、1時間ほど使用を中止してください。 再度電源を入れて同じエラーが表示される場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
「E3」の表示 	本体の不具合です。	お買い上げの販売店へお問い合わせください。
「E4」の表示 	フラッシュランプが寿命に達しました。 (P18参照) ※交換はできません。	製品を廃棄する場合は、各自治体の分別ルールに従ってください。

7.2 音について

音の種類	お知らせ内容
ピ (短い単音)	電源コードが差し込まれたことや、マニュアルモードで電源／レベルボタンが押されたことをお知らせ。
ピー (長い単音)	電源が入ったことや、チャージ中であることをお知らせ。
ピッピッピッ (ゆっくりな断続音)	照射面が正しく肌に密着し、光を照射できることをお知らせ。
警告音 ピピピピピピピ… (速い断続音)	スキンタイプ6を検知し、光を照射できないことをお知らせ。
ピッピッ (短い単音)	モードが切り替わったことをお知らせ。

7.3 困ったときは

本製品を使用中、次のような症状でお困りの場合は、考えられる原因をご確認の上、処置方法に従って対応してください。

症状	考えられる原因	処置方法
作動しない	電源プラグがコンセントに しっかりと差し込まれていな い。	電源プラグをコンセントにし っかり差し込んでください。 (P17参照)
	電源コードが電源ユニットの 電源コード差し込み口にし っかり差し込まれていない。	電源コードをしっかりと差し込 んでください。(P17参照)
光を照射でき ない	ハンドピースの照射面が肌に 密着していない。(誤照射防 止用のセンサーが作動してい る)	ハンドピースの照射面をしつ かり肌に密着させてください。 (P20参照)
	照射後、ハンドピースを肌に あてたままにしている。 (シングルモード時)	シングルモードの場合、1回照 射するごとに、ハンドピースの 照射面を肌から離してください。 (P23参照)
	肌の色がスキンタイプ6に該 当している。	安全のため、照射できなくなっ ています。スキンタイプ6以外 の部分でご使用ください。
照射レベルを 設定できない	オートシングルモードまたは オート連続モードになってい る。	オートモードは、照射レベルが自 動的に設定されます。マニュアル モードに切り替えてください。 (P28または32参照)
光を連続照射 できない	フラッシュボタンから指が離 れてしまっている。	フラッシュボタンを押したま ま、スライドさせてください。
	一定時間肌から離してしまっ ている。	スライドさせるように素早く次 の場所に移動してください。
	オートシングルモードまたは マニュアルシングルモードに なっている。	オート連続モードまたはマニュ アル連続モードに切り替えてく ださい。 (P25または32参照)
	肌の色がスキンタイプ6に該 当している。	安全のため、照射できなくなっ ています。スキンタイプ6以外 の部分でご使用ください。

7.4 よくあるご質問

Q	A
顔に使用できますか？	唇、口腔内を除く鼻下から下に使用できます。それ以外の部分には使用しないでください。 目の周りや唇等には絶対に使用しないでください。 また、男性のひげ等、太い毛に使用する場合、期待する効果が得られない場合があります。
ヘソ周りに使用できますか？	ヘソ周りには使用できます。ヘソ内部に直接光を照射しないでください。
ホクロやアザの部分はどうしたらよいですか？	ホクロやアザは避けて光を照射してください。ホクロやアザが多く気になる場合は、白いシールを貼り、シール部を避けて照射してください。 ※白いシールは同梱していません。
何歳から使用できますか？	安全性を考慮し、親権者同意のもと、12歳からご使用できます。
毎日使用できますか？	同じ部分への使用は最短でも1週間以上、間隔を空けてください。(P14参照)
毛はなくなりますか？	ご使用方法を確認いただき、継続的にご使用いただくことで、ムダ毛が目立たなくなります。
効果がないのですが？	短期間のご使用では効果は期待できません。ご使用のタイミングやご使用方法を確認いただき、継続的にご使用ください。 また、オートモードでご使用の場合は、マニュアルモードでご使用いただくことをおすすめします。それでも効果がないと感じる場合は、光を照射した後、1度冷却を行い同じ部分を再度照射してください。
白い毛やうぶ毛にも効果はありますか？	色素の薄い白い毛や、うぶ毛への効果はほとんどありません。
光の照射中、熱く感じるのですが？	感じ方には個人差がありますが、シェービングが不十分な場合は熱く感じやすくなります。シェービングをきちんと行ってから照射してください。 また、ホコリや毛が肌の表面にないか確認してください。それでも熱く感じる場合は、付属のクーリングパックでこまめに冷やしてください。
ハンドピースが熱く感じるのですが？	光を連続照射した場合、熱くなることがあります。電源を切らずに、ハンドピースが冷めるまで時間をおいてください。
クリスタル照射口に黒い物やホコリが付着しているのですが？	電源を切ってから、クリスタル照射口を付属のお掃除クロスでふきとってください。汚れが落ちない場合は、水で湿らせた綿棒でふきとってください。(P34参照)

Q	A
光を照射した後、焦げた匂いがするのですが？	<p>クリスタル照射口にホコリや毛が付着していませんか？電源を切ってから、付属のお掃除クロスでふきとってください。また、照射する部分の毛が伸びている場合は、シェービングしてください。</p>
光を照射した部分が赤くなったのですが？	<p>体調や体质によって、一時的に赤みができる場合があります。その場合は、付属のクーリングパックでよく冷やしてください。赤みが続く場合は、皮膚科医の診察を受けてください。</p>
使用中、光がまぶしく感じるのですが？	<p>ゴーグルを装着していますか？必ず付属のゴーグルを装着してください。 また、ハンドピースの照射面をしっかりと肌に密着させてください。</p>
エステサロンや美容皮膚科等で脱毛（電気、光、家庭用を含む）や、フェイシャル、ボディコースを受けている（予定がある）のですが？	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ部分の脱毛コースを受けている（受ける予定がある）場合は、コース前後2週間以上空けてからご使用ください。 ・同じ部分のフェイシャル、ボディコースを受けている（受ける予定がある）場合は、コース前後1週間以上空けてからご使用ください。 <p>※ご使用の前には、必ず肌の状態を確認してください。</p>
海外で使用できますか？	<p>AC100～240 Vの国／地域でご使用できます。（保証規定にある無償修理は日本国内で使用した場合のみ） 本製品はAプラグです。それ以外の場合はプラグ変換アダプターをご使用ください。※付属品ではありません。</p>
クリスタル照射口が冷却されるので、光の照射前後にクーリングパックで冷やすなくても大丈夫ですか？	<p>クリスタル照射口の冷却機能は照射時の刺激をやわらげるための機能です。 肌への負担を減らすためにも、光美容器によるお手入れ前後には付属のクーリングパックで冷やしてください。</p>

8 製品仕様

■HIKARI BEAUTY 4 PRO

定格電源	AC100-240V 50/60Hz
消費電力	約150W (max.)
製品サイズ	ハンドピース：約 W72×D75×H232 (mm) 電源ユニット：約 W142×D80×H50 (mm)
製品質量	約660g (ハンドピース + 電源ユニット)
光源	キセノンランプ
照射サイズ	10mm×30mm (3.0cm ²)
フラッシュランプ寿命	照射レベル1 : 300,000ショット
動作条件	温度：5～35°C 湿度：30～80%RH
保管条件	温度：-20～80°C 湿度：0～95%RH

※本製品の性能等を改善するために設計・仕様、付属品は、予告なく変更される場合があります。

●本製品は、日本国内用に設計・販売しております。

電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理やアフターサービスは対象外です。

●本製品は、屋内専用です。

●取扱説明書の内容について

本書は製品開発にさきがけて印刷しています。性能や操作性向上のため、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は、製品自体の仕様が優先されます。

愛情点検	●長年ご利用の製品の点検を！
	こんな症状はありませんか？ <ul style="list-style-type: none">●電源を入れ操作しても作動しない。●本体が異常に熱い、焦げ臭い。●異常な音がする。●電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。●その他の異常がある。  ご使用中止 !! 故障、事故防止のため電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

9 保証とアフターサービス

1. 本製品には、本書の裏表紙に保証書がついています

お買い上げの販売店で所定事項の記入をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって大切に保管してください。所定事項の記入がない、またはレシート・明細書の貼付がないと保証は有効となりません。その場合は、お買い上げの販売店へ記入をお申し付けください。

2. 保証期間中に修理を依頼されるときは

本取扱説明書をよくお読みいただき、本製品に異常がある場合は、お買い上げの販売店に保証書をご提示のうえ、修理を依頼してください。保証書の規定に基づき、無償、または有償で修理させていただきます。

3. 保証期間後に修理を依頼されるときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により本製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有償で修理させていただきます。

4. 補修用性能部品について

発売元では、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造終了後、最低6年間保有しております。

5. 本製品使用中、万一不具合により使用できなかったときは

そのことによる損失の補償、または使えなかつたことによる付隨的損害の補償については、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

●個人情報のお取り扱いについて

本製品の修理等に際してお預かりするお客様のお名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合、および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客様がお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客様のお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただく場合があります。

〈利用目的〉

商品・サービスにかかるご相談、お問い合わせ、および修理の対応にのみ利用させていただきます。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する際、委託先に対しては発売元と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切に管理・監督いたします。

■お問い合わせ先

発売元

〒163-0655

エステティックTBC

東京都新宿区西新宿1-25-1

お客様相談室 ☎ 0120-801-272

保証規定

本書は、お買い上げ日より保証期間内において、正常な使用状態で故障が発生した場合、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご覧ください。

1. 保証期間中、取扱説明書等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買い上げの販売店が無償修理いたします。
2. 保証期間中、無償修理等のアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または発売元へお問い合わせください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になります。
 - a. 本書のご提示がない場合
 - b. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(レシート・明細書がなく、ご購入日の確認が取れない場合)
 - c. ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
 - d. お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - e. 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - f. 本製品以外の他の機器によって生じた故障および損傷。
 - g. 一般家庭以外(業務用として長時間使用する等)に使用された場合の故障および損傷。
4. 下記の部品は消耗品です。保証期間内でも有料となります。
・フーリングパック　・ゴーグル　・お掃除クロス　・電源コード
5. 本製品は持込修理の対象商品です。保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様のご負担となります。
6. この保証書は、本書に明示した期間の条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
7. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

保証書

持込修理

品 名	家庭用光美容器	型 番	HA-LB04-PR
製 品 名	ヒカリビューティ 4 PRO		
無償修理保証	対 象 部 分	期 間	
	機器本体	お買い上げ日から 1年間	
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お 客 様	ご住所	〒	
	お名前 _____		
	様 _____		
※ 販 売 店	住所・販売店名・電話番号 お買い上げ日のわかる明細を貼付 または本保証書と併せて 保管してください。		

●販売店様へのお願い

必ず※印欄をご記入・ご捺印のうえ、お客様へお渡しください。

●お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名が記載されているかお確かめください。
万一記載がない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
- 所定記入欄が空欄のまま、もしくはお買い上げ日・販売店名がわかるレシート・明細書がない場合、本書は有効とはなりません。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて詳しくは、お買い上げの販売店または発売元に直接お問い合わせください。

発売元

〒163-0655

エステティックTBC 東京都新宿区西新宿1-25-1

お客様相談室 ☎ 0120-801-272